

# 園だより

2024年12月号  
2024年12月2日発行

## 暗闇の光



先月は、おまつり広場や収穫感謝祭、ひつじ組の遠足など沢山の楽しい行事がありました。ひつじ組の遠足は、あいにくの小雨で、「宝町公園」から「れいめい宝学童室」に行先が変わりましたが、天候の変化もめげずに、雨カッパを着て歩き、楽しい時を過ごしていました。初めてののお弁当をととても楽しみにしていた子ども達。想像以上に自分の事は自分でやっていたので、その成長に驚きました!!楽しみがあるとすすんで取り組む子ども達なのです!!

さて、クリスマスを迎えるアドヴェント期間に入りました。毎週1本づつ、ろうそくを灯して、イエス様の誕生を楽しみに待ち望みます。

黎明保育園が所属している『キリスト教保育連盟』主催のパイプオルガンコンサートに行く機会が与えられ、演奏者は聖学院大学特任教授の相川徳孝先生でした。堀切こうとう教会の奏楽者で一時期は黎明の先生もしていました。パイプオルガンの荘厳な音色から、クリスマス物語の羊飼いが映像に飛び出して来るようで、一緒に羊飼いになったような喜びの気持ちになりました。そして、翌日は私の教会でもゴスペルコンサートがあり、歌や演奏を通して、イエス様を迎えるために心を整え、温かな交わりの時となりました。

園では葛飾区の指導検査が12月上旬にあり、要綱通りに正しく運営されているか?安全対策や保育内容はどうか?と役所の方が来て確認するのです。そのため、指導検査の準備、クリスマスの準備、年末の準備と忙しさに追われています。自分の感情に蓋をして、ただ走っているだけの感覚になりますが、そんな時でも主が共にいて支えてくださることを信じています。クリスマスのメッセージは暗闇の光として来られたイエス様です。自分の心が慌ただしくても、暗く沈んでいても、私たちの傍らにきて暖かく照らしてくださるのです。



子ども達ひとり一人と皆様の上に  
イエス様の恵みと祝福があります  
ように。 園長 三幣典子  
『その光は、まことの光で、世に来て  
すべての人を照らすのである』  
(ヨハネによる福音書1章9節)